

黒田泰蔵

白磁

TAIZO KURODA
white porcelain

写真

MASAYUKI OWA
photograph

造本

KATSUHIRO KINOSHITA
art direction

印刷

MITSUMURA PRINTING CO.,LTD.
printing



9月28日(水)ー10月30日(日)
10:00ー18:00 入場無料 会期中無休
光村グラフィック・ギャラリー

「黒田泰蔵 白磁」に込める「製版印刷クリエイション」

白磁を創り続けてきた黒田泰蔵の、初めての自選作品集「黒田泰蔵 白磁 TAIZO KURODA white porcelain」には近年の代表作「円筒」をはじめとした126作品が掲載されている。作品の撮影はモノクロームネガフィルムで行われて、印画紙に焼き付け仕上げするアナログ方式が採用された。この写真原稿の階調を十分に活かして、オリジナル作品の

印象を「印刷表現でいかに定着させるのか」が光村印刷に託された。製版の試行錯誤にはじまり、用紙とのマッチングなど、デジタルシステムに人の感性を込めた多くの検討と検証を積み重ね、今日のプリンティングクリエイションならではの印刷美を追求した。1冊の書籍が出来上がるプロセスを、製版と印刷を中心に、実作品と写真とともに展覧します。



発行：葉の花文庫 発売：求龍堂

白磁 極限の造形 無垢の白

黒田泰蔵が1992年以来制作を続ける白磁は、いま陶芸の枠を超えた評価で、世界的注目を集めている。「円筒」をはじめ、シンプルな造形の内に作者の魂と情感が発露する自選の15作品が特別出品される。

写真 陰翳で質感と空間を

大輪真之は自然光で白磁を撮影。フィルムと印画紙の銀塩写真による平面への定着は、独自の階調で作品空間を表現。印刷原稿として仕上げられた133点におよぶ印画紙から厳選された25作品を展示。

造本 情報と気配の物質化

木下勝弘は書籍づくりを建築的に捉えている。さまざまなディテール（サイズ・頁数・用紙・原稿・写真・製版・印刷・製本）を、テーマに相応しい視点で吟味を尽くし構築する、造本のアートディレクションとは。

印刷 見えざる過程が重要

光村印刷が製作において重視する「つくり、つたえ、のこす」という3つのキーワードは印刷メディアの意義そのものです。しかしながらこの仕事では本質を伝え残す為に「どのように造り、いかなる仕上げを目指すべきなのか」を原点に戻り再考察することから始めました。マニュアル化した工程には頼らず、人の意思と眼で判断した「インキ・用紙・階調設計」を経て、再現の領域を超えた存在感ある「印刷美」の実現を目指しました。通常では見る機会のないプロセスを公開し、現代の製版印刷クリエイションの醍醐味とその魅力を紹介します。

第57回全国カタログ展：
国立印刷局理事賞受賞／左合ひとみ賞受賞
第50回造本装幀コンクール：審査員奨励賞受賞



212線 モノクロ1c製版 スミ+超皮膜ニス印刷



212線 ダブルトーン製版 スミ+特グレー+超皮膜ニス印刷



212線 モノクロ4c製版 CMYK+超皮膜ニス印刷

2016年9月28日(水) — 10月30日(日)

10:00—18:00 入場無料 会期中無休

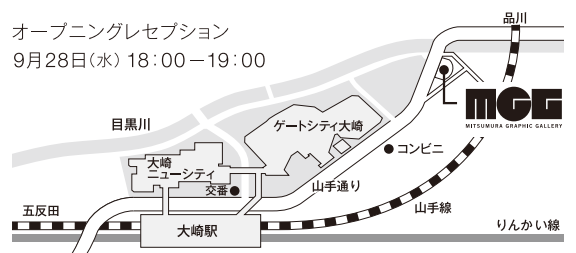
主催＝光村印刷株式会社 後援＝JAGDA(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会)
協力＝株式会社菜の花／株式会社求龍堂／株式会社渋谷文泉閣／株式会社竹尾
特種東海製紙株式会社／DICグラフィックス株式会社／株式会社デザイン倶楽部
株式会社東京スタジオ／牧材木店／有限会社ワーカーズ／株式会社メディア光村

光村グラフィック・ギャラリー

〒141-8567 東京都品川区大崎1-15-9 Tel 03-3492-1181 (光村印刷代表)

表面：「黒田泰蔵 白磁 碗」212線 トリプルトーン製版 スミ+スミ+特グレー+超皮膜ニス印刷

オープニングレセプション
9月28日(水) 18:00—19:00



アクセス

JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン／りんかい線：「大崎駅」南改札新東口より徒歩6分
東急バス(渋谷駅⇄大井町駅)：「居木橋」前

用紙協力：株式会社竹尾、特種東海製紙株式会社 使用用紙：ミセスB-F スーパーホワイト 菊判T目 76.5kg